

(0)

雑

I-0042

0059

欧二

歐二普通合第一五九八號

昭和六年五月二十五日

外務次官 永井 松三

中川 文部次官
今井田 遞信次官
小林 海軍次官

墨國ノ夏季時間採用ニ關スル件

墨國ニ於ケル公式時間カ中央標準時ニ復歸セル次第ハ客年十二月二十六日附歐二普通合第三九六七號ヲ以テ申進置キタル處今般在墨柳澤代理公使ヨリ同國ノ夏季時間採用ニ關シ別添寫ノ通報告アリタルニ付御参考ノ爲右茲ニ送付ス
本信送付先 文部、遞信、海軍各次官

外務省

6.3

別紙添付

(添付紙)ト

分類 J 1.3.0.8

普公第九四號

昭和六年四月二十五日

在墨臨時代理公使 柳澤 健

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

墨國ノ夏季時間採用ニ關シ報告ノ件

從來墨國ニ於テハ中央標準時ヨリ一時間ヲ早メ之ヲ公式時間(Hava official)トナシ居リタルヲ昨年十一月十五日以來中央標準時ニ復歸スルコトトナリタル次第ハ當時及報告置キタル處今回大統領令ヲ以テ一年ヲ冬夏ノ二季ニ別テ

四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル夏季ニハ

低加州北部ニ於テハ中央標準時(西經百五度ノ子午線ノ時)

外務省

6.3

(添付紙)ト

I-0042

他ノ地方ニ於テハ右中央標準時ヨリ一時間早キ時間（西經九十度ノ子午線ノ時）

ノ二種ノ時間ヲ採用シ

十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル冬季ニハ昨年十一月決定ノ通り

墨西哥灣地方（「タマウリス」、
「ペラクルス」、
「カムベチエ」、
「タバスコ」、
「ユカタン」、
「オハカ」、
「チアパス」ノ諸州及「キンタナロー」直轄地）

ニ於テハ中央標準時ヨリ一時間早キ時間（西經九十度ノ子午線ノ時）

西部地方（低加州北部）ニ於テハ中央標準時ヨリ一時間晚キ時間（西經百二十度ノ子午線ノ時）

中央地方（右二地方ヲ除ク諸地方）ニ於テハ中央標準時（西經

（赤枠紙）

外務省

6.3

百五度ノ子午線ノ時）

ノ三種ノ時間ヲ採用シ

本年ハ四月三十日後夏季時間ニ入ルヘキ趣ヲ公布シタリ

尙鐵道ハ一年ヲ通シ中央標準時ヨリ一時間早キ夏季時間ヲ使用ス

右何等御參考マテニ報告ス

（赤枠紙）

外務省

6.3

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米商 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 祕書官

寫送先

昭和12 六九五 平 馬尼刺 十五日午後發
本省 一月十五日夜着

有田外務大臣

内山總領事

第一八號

客年往電第三四一號ニ關シ

日光節約時間ハ一月迄存續ノ筈ナリシ處大統領ハ本十五日夜半十二時限り之ヲ廢止シ標準時ニ復歸スル旨公布セリ前電通り關係ノ向ヘ周知方御取計アリタシ
「ダバオ」、臺灣外事課長ヘ轉電セリ

外務省

竹内

I-0042

照合票

令 第五二五八號

昭和十二年十二月二日

發信者 堀内次官
中上歐亜局長

受信者 平沢濂信次官
大村社会局長

件名

留土府港一週早時間労働法制定ニ関スル件

原書ハ左記ニ在リ

記

「門々類」項。目 / 號

各系労働法制定ニ關スル件

照合票

令 第五二七號

昭和十二年十二月十三日

發信者 堀内次官

受信者 大村社会局長
平沢濂信次官

件名

アラスカ港及「カニ」港一週早時間労働ニ関スル件

原書ハ左記ニ在リ

記

「門々類」項。目 / 號

各系労働法制定ニ關スル件

(分類 I 1.3.0.8)

(分類 I 1.3.0.8)

電信課長

大臣
次官

東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文情
調查
人典
儀典
文書
會計
會計
祕書
官

寫送先

印

印

分類 I 1.3.0.8

昭和13 一〇九六〇 略 張家口 四月十八日後發 本 省 十八日夜着 亞

廣田外務大臣 森岡總領事

第一五一號

蒙疆聯合委員會ニ於テハ其ノ地域ニ於ケル標準時ヲ來ル二十日ヨリ
東京並トシ即チ十九日午後十一時ヲ以テ二十日午前零時ト改正スル
コトニ決定セリ
北京、天津、上海、滿へ轉電セリ

名符
時内平

外務省

I-0042

外務省

秘電報

蒙特電第四四號

次 館 宛

駐蒙兵團參謀長

昭和一三、四、二〇

四、九、後、一〇、四、五、〇、發

分類 I 1. 3. 0. 8

蒙疆地區ニ於ケル標準時、日本、滿洲國
及北支那方面軍トノ關係ヲ考慮シ四月二十日
午前零時ヨリ一般ニ日本ト同一時間ヲ採用ス
ルフトニ改正セリ

象ヲシテ當地區ト同一標準時ヲ採用セシムル
如ク配慮煩シ度

甲、關スシ

(終)

名件

時向子子

I-0042

大臣 次官 電信課長
 東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 儀典 人典 調查 文書 會計 秘書官

分類 I 1.3.0.2

昭和13 一一二四九 略 濟南 四月廿一日後發 本省 廿一日後着 亞
 廣田外務大臣
 第三二五號
 北支鐵道事務局ハ四月二十日ヨリ日本中央標準時ヲ使用スルニ付同日以後驛ニ揭示スル列車發着時刻一般ノ時刻ニ一時間ヲ加ヘタル時刻ヲ以テ表示スルコトトナレル旨告示セリ尙當地軍側モ二十日以降日本時間ヲ使用シ居ル趣ナリ
 南京へ轉電アリタシ
 北京、青島、天津、上海へ轉電セリ

名簿
 時間係雜件

外務省

大臣 次官 電信課長
 東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 儀典 人典 調查 文書 會計 秘書官

(分類 I 1.3.0.8)

昭和13 一一二八二〇 略 北京 五月七日後發 本省 七日夜着 亞
 廣田外務大臣
 第二號
 軍側及鐵道等ハ四月二十日ヨリ、當館ハ五日ヨリ日本中央標準時ヲ採用セリ
 上海、天津、青島、濟南、張家口へ轉電セリ

名簿
 時間係雜件

外務省

I-0042

電信課長

昭和13 一四二一九 略 青島 五月廿一日後發 亞

大臣

廣田外務大臣

門脇總領事代理

第四四四號

當館ハ二十日ヨリ日本時間ヲ採用セリ

次官 東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 祕書官

分類 丁 1.3.0.8

寫送先

外務省

名作

時 10 子 子

I-0042

DAHIR DU 16 FEVRIER 1940 (7 moharrem 1350)

établissant une heure spéciale dans la zone française
de l'Empire chérifien

LOUANCE A DIEU SEUL !

(Grand sceau de Sidi Mohamed)

Que l'on sache par les présentes - puisse Dieu en
élever et en fortifier la teneur !

Que Notre Majesté Chérifienne,

A DECIDE CE QUI SUIT :

ARTICLE UNIQUE - L'heure légale fixée pour le territoire de la
zone française de Notre Empire par l'article 1^{er} du dahir du
26 Octobre 1913 - (25 kadda 1331)-, sera avancée de soixante
minutes à partir du 25 février 1940 (16 moharrem 1359) et jusqu'à
ce qu'il soit autrement ordonné.

Ce changement sera effectué dans la nuit du 24 au
25 février à 2 heures du matin.

Fait à Rabat, le 7 moharrem 1359
(16 février 1940)

Vu pour promulgation et mise à exécution :

Rabat, le 16 février 1940

Le Ministre plénipotentiaire,
Délégué à la Résidence générale

J. MORIZE

I-0042

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會議 秘書官

寫送先

昭和15 一九二三年

平

ブエノスアイレス

七月一日後發

情

有田外務大臣

内山公使

第二九八號

亞國政府ハ燃料節約ノ爲七月一日ヨリ全國的ニ時計ヲ一時間進マス
コトニ決定同日ヨリ實施セリ(了)

分類工ノ308

外務省

寫

文普通第一〇三號

昭和十六年二月三日

外務次官

企畫院第二部長 殿

各國ニ於ケル二十四時間制施行ノ有無取調
方ノ件

本件ニ關シテハ當省持合ノ各國汽車、飛行機等ノ時間表及歸朝者
ノ談話ニ付取調左記ノ通通報申進ス

記

獨逸	國名	摘要	備考
二十四時間制ヲ用フ		汽車時間表ニ依ル	

(日本標準規格B5)

外務省

I-0042

公 信 案	記	姓名	蘇聯邦
		摘要	于四月廿五日
		備考	但簡單ナル談話ニハ片寄、片取ナリ 甲

(日本標準規格 B 5)

發信用執務用		縣 長 印	昭 和 拾 六 年 貳 月 八 日 發 送 済	文書課長									
主信	1 2 8												
附甲													
附乙													
附丙													
附丁		昭 和 拾 六 年 貳 月 八 日 附 屬	文書課發送日	主 任									
備考	21308				普通 號 第 一 二 二 號	昭 和 拾 六 年 貳 月 八 日 附 屬	文書課長						
公 信 案	冬 之 於 此 于 四 日 寫 制 施 行、 有 世 取 調 方 件							名 件 先 付 送 寫	名 人 信 受	企 畫 院 第 二 部 長			
外 務 省											名 件 錄 記	名 人 信 發	大 橋 次 友
		昭 和 十 六 年 二 月 五	正 校 (原 稿) (淨 書)										
				DIE									

(日本標準規格 B 5)

I-0042

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 2.1.3.0.8

記録件を時前肉係件

昭和16 五三一二〇 略

南京 五月三日後發
本省 三日夜着

亞

松岡外務大臣

本大使

第二九〇號

一日國民政府訓令ヲ以テ同日ヨリ九月三十日迄全國ニ亘リ「サン
マー、タイム」(夏期時間) (結局日本時間ト同一トナル) 實施
方公布セリ

在支各總領事及香港、徐州、九江、杭州、蘇州へ轉電セリ

外務省

I-0042

寫送先

顧政通條調人儀文會秘弘
問務商約查事典書計官報

分類 I 1308

大臣
次官

電信課長

昭和18 三九七四

里斯本 三月十四日午後
本省 十五日午前

政

森島公使

谷外務大臣
第一七九號

(葡國夏期時間ニ關スル件)

本使發獨及西宛電報台第一號

本年葡國夏期時間左ノ通り決定セラル

「グリニツチ」標準時ヲ基準トシ三月十三日及四月十七日午後十

一時ニ一時間宛早メ八月二十八日及十月三十日午前零時ニ一時間

宛遅ラス

本電宛先 獨ハ西
大臣へ轉電セリ

森島公使

電信寫

石橋
中野
谷
久

昭和18 三九七四

里斯本 三月十四日午後
本省 十五日午前

政

森島公使

谷外務大臣
第一七九號

(葡國夏期時間ニ關スル件)

本使發獨及西宛電報台第一號

本年葡國夏期時間左ノ通り決定セラル

「グリニツチ」標準時ヲ基準トシ三月十三日及四月十七日午後十

一時ニ一時間宛早メ八月二十八日及十月三十日午前零時ニ一時間

宛遅ラス

本電宛先 獨ハ西
大臣へ轉電セリ

外務省

